

第7回

Komatsu  
Biennale  
2023

作品募集

大賞  
100万円  
申込〆切  
5/25(木)

# 宮本三郎記念

# デッサン

# 大賞展

## 明日の表現を拓く

洋画家・宮本三郎(1905・1974)は、石川県小松市に生まれ、若くして画家を志し上京しました。昭和初期からは東京都世田谷区にアトリエを構え、ここを拠点とし制作を重ねました。宮本の優れたデッサン力は創作の源泉であり、画家としての資質を色濃く伝えるものです。

一本の線から生まれたかたちには、それを描いた人の感性や心の動きが表れ、それぞれが独特な表現への可能性をひめています。宮本三郎は「二枚の白紙と一本の木炭があれば、その精神が対象と一体となって、充分の活動を開始する」と、線が創り出す造形の妙味を述べています。

このデッサン大賞展は、線や様々な手法によって生み出される豊かな表現を求める場として生まれました。新たな表現の地平をおし広げるための一本の線、そして新鮮な技法、創造の明日を拓く独創的な表現を求めます。

応募期間

2023年4月1日(土)～5月25日(木)

審査員(50音順)

荒井良二  
(絵本作家・イラストレーター)

小澤基弘  
(埼玉大学教授・画家)

鈴木康広  
(アーティスト)

橋本善八  
(世田谷美術館副館長)

町田久美  
(画家)

主催

小松市、小松市立宮本三郎美術館

宮本三郎記念デッサン大賞展実行委員会

協力

世田谷美術館(公益財団法人せたがや文化財団)



小松展

2023年9月23日(土・祝)～11月5日(日)  
小松市立宮本三郎美術館

東京  
巡回展

2023年11月22日(水)～12月10日(日)〔予定〕  
世田谷美術館 区民ギャラリーA・B